合格のためにー製図試験.com マニュアル

ver.200620

0.はじめに
1.製図試験.com コンセプト
2.選ばれている 5 つの理由
3.合格までの 4 ポイントとスケジュール
4.コース解説
5.直接・オンライン指導コース日程.
6.学習アイテム一覧

０.はじめに－短期決戦で合格するために

□製図試験.com とは

はじめまして、製図試験.com 代表の山口です。数あるサイトの中で製図試験.com にようこそ。
弊社は 2000 年に学科製図.com としてスタートし、これまで 2700 余名の一級建築士を輩出してきたサイトです。
一級建築士設計製図試験にまつわるテキストを学芸出版社より 6 冊上梓してまいりました。
現在、8 割弱の受験生が資格学校に通っている一方で、実は資格学校離れが進んでいます。もう資格学校一択の時代ではありません。様々な通信添削や中小指導塾が存在しています。これだけインターネットが生活のベースになり、情報があふれかえっているにもかかわらず、未だに資格学校に通わざるを得ない選択肢しかないのか、今の受験体制でいいのだろうかという疑問を持った方がこのサイトに訪れていただいているのだと感じています。

□新試験制度・コロナ渦・短期決戦・学習方針

2020 年は新試験制度となり、多くの新たな受験生が本年度学科試験に挑んでいます。ですが前半戦はコロナ渦であり、時間が取れた方と共に集中できない時間も多かったと思います。またオリンピック一色だったにも係わらず、オリンピックは延期、全ての予定がコロナ中心で回ったままの 6 月となっています。そしていよいよ 7 月 21 日から 10 月 11 日までの短期決戦を向かえますが、いかに効率的かつ綿密に戦うかが重要となります。

□悪意に満ちた製図試験という位置付け

私の印象では、この製図試験、まじめな性格の良い受験生がなかなか合格できないという印象を持っています。そもそも本試験課題の設定が常に論理的整合性がとりにくい傾向があり、「500 円しかないけど 600 円のランチを頼んで来い」という上司のような試験なのです。あなたは試されている。創意工夫ができるのかと。ですが、まじめな受験生にとって、それは創意工夫ではなく、ズルと感じてしまうことが往々にしてあります。そしてそこで思考ループにハマってしまう。もう何度もそういうシーンを見てきました。
そこで 2020 年度のコンセプトとして、「**試験問題のどこに悪意があるのかを見抜くこと**」を重要なミッションとして位置づけています。試験元の JAEIC に敵意があるのではなく、6 割を合理的に不合格にさせるために彼らも知恵を絞っているのですが、制度疲労が甚だしく、まともではない出題しかできない現況が問題なのだとは思います。
ですがあなたは合格しなければならない。とすれば、この「悪意を見抜くこと」は合格のために必須要件なのです。

□ほめる指導始めています。

当たり前なのですが、あなたは一級建築士設計製図試験に一度も合格していません。資格学校の問題群を解いたり、過去問題をやっているのだと思いますが、減点法であるため、よいところはほめられず、欠点のみをあげつらう指導を受けてきた方も多いはず。
ですが近年それで心が折れている方が非常に多いという事実に着目し、2020 年度は、厳しく指導しつつもよいところに目を向け、できていることに自信を持ちつつ、できていないことについてはその自信を持ってフォーカスする方向で指導を進めます。
詳しくはメールマガジンの配信を行っています。https://seizushiken.com/mmz からご登録ください。

2020 年 6 月吉日

製図試験.com 代表　山口　達也

１.製図試験.com コンセプト

弊社が一貫して主張していることは以下の４点です。

①多くの選択肢がある方がベター

資格学校での内容がぴったり当てはまる方も当然おられますが、当てはまらない方もまた多いのが事実です。インターネットの情報はどこまで信頼できるかどうかもわからないし、内容が伴わないサイトや通信添削があるのもあるかもしれません。それでも多くの選択肢がある方が受験生にとってはベターだと考えています。最も悲惨なのは、合わない学校やしくみを選んでしまうことです。選択権は常にあなたにあります。

②投資資金とその回収予定

資格学校に通うと学科からだと 100 万円くらいかかってしまいます。近年 T 社が非常に廉価で始めたのは、内容はともかくとてもよい傾向だと思っています。仮に一級建築士に合格すると 1 万円手当が付いたとします。それで 100 ヶ月、約 9 年弱その資金回収にかかるわけです。2 年行くと 18 年。子供が成人するくらいかかるわけです。でも 18 年後、もう一級建築士はおろか日本もどうなっているかわからないのに、そんな額の自己投資をするのはちょっと疑問があります。私なら年 20～30 万円程度で取得したいのが一級建築士というイメージです。

③試験を通じて「建築する」ことを学べるしくみ

私自身、関西国際空港旅客ターミナルビルの設計を通じて、レンゾピアノ氏及び諸先輩方々から本当に多くのことを学びました。レンゾピアノの建築観は日本の設計事務所の考え方とは大きく異なるものがあり、設計製図試験を通じてその建築観を受講生の皆さんに伝えたいという想いがあります。（２）に絡むことですが、一級建築士の資格自体で投資回収をすることは難しいのですが、「建築する」*1 ことを体得すれば、生涯においてあなたはそれを使うことができます。

*1 建築する：情報を集め、カテゴリに分類し、使える状態でストックする行為。

④「絶対合格」をめざす。

「絶対合格」とは、試験会場で「時間です。止めてください。」と試験官が言った瞬間に、「今年は合格できた」と確信できる境地です。サッカーで言うと 1 対 0 で辛勝ながらイメージ通り完勝という感じでしょうか。予測していた事態、アクシデントを全て乗り越えて勝利を確実にもぎ取るイメージです。弊社では常に「絶対合格」をめざしています。

製図試験.com の学習方法の特徴

・合格への王道：ステップで細分化

製図試験は様々な条件が組み込まれつつも、ひとつの建築物の計画が出題されます。加えて回答に至るまでに、問題文読解、エスキース（ゾーニング＋プランニング）、要点記述、作図、見直しの５工程で構成されています。この５工程全てを時間内に行うための実技演習を積むことが、試験対策としての学習方法になります。

弊社では、読解を９ステップ、エスキースを４ステップ、記述・作図を９ステップ、見直しと合計 23 ステップに細分化しています。全てのステップは毎回必ず利用し、時間内に回答に至らない場合はどこかに不備があります。それを全て克服することがこの試験の合格への王道です。

・自己分析すること

まず自身の不合格要因となっているステップの不備を見つけ、それを克服する必要があります。そのためには自己分析が不可欠です。7 月 22 日のオープン課題や第 1 課題を利用して、エスキースや図面のトレース等を行う中で、ご自身の自己分析＝どこがわかっていてどこがわかっていないのかを位置付ける作業に取り組んでいただいています。その上で合格に必要な力をどのように構築するのか学習プランを立て、目標を明快にして試験に臨むことが合格への第一歩と考えています。

・試験分析をすること

次に「一級建築士設計製図試験」とは何なのかを理解するために、過去問題分析が不可欠です。受験生の多くは意外にも過去問題分析をしておらず、結局「製図試験」とは何なのかがわからないまま、課題を解いているだけの方が多いです。弊社を始め、資格学校でも過去問題をバラして、自社課題の中に取り込んでいますが、一次資料の過去問題に当たらずして、二次資料の課題を解いても本当の試験は見えません。そのくらい過去問題の分析は重要です。

・各ステップの精度を上げる戦い

自己分析して自身の弱点を知り、試験分析をして試験問題のポイントを理解すれば、合格するために必要なポイントが見えてくるはずです。そこからは各ステップの補強と精度を上げる戦いとなります。苦手な部分をより深く理解すること、より幅広く理解することで、苦手意識を取り除きます。不明な点はできる限り即答できるシステムとして LINE ライクな BAND や ZOOM といったアプリを会員サポート用に導入しています。

そしてポイントになるのが反復練習です。細分化したステップについて、できない部分はトレースからおこない、できるまで何度も何度も練習することです。「できる部分まで細分化しできるまでやる。」これが唯一のコツです。

・バランス感覚やメタ思考を身につけること

積上げた各ステップを統合すること＝出題されるのは１問なのですから、この統合する能力が必要になります。烏合の衆ではなく磨き上げた各ステップのはずですが、サッカーで各選手が一流でもチームとして強いかは別であるように、この統合が上手くいかないと機能しません。各ステップの統合には、バランス感覚やメタ思考が重要な役割を果たします。

これらを身につけるには、自身の答案と解答例の間にある無数の可能性を読み取ることが最も近道であり、それには同じ課題をいかに他受講生が解いているのかという情報が必要です。そこで添削カリキュラムではオンライン課題レビューやフリーディスカッションを重視しています。

・メンタルを鍛えること

メンタルについては、本年度から心理カウンセラーでもある代表の山口が、主にメールマガジンそして面談等を利用して試験メンタルの育て方について指導します。長い間封印していたのですが、近年の本試験での崩れ方を観て、再度メンタルトレーニングを始めることにしました。

→弊社が選ばれている理由を５点にまとめましたのでご覧ください。

２.製図試験.com が選ばれている５つの理由

これまで多くの合格者を輩出してきた製図試験.com が選ばれているにはいくつかの理由があります。その多くは資格学校や他の通信添削では得られない内容を含んでいます。

①エスキースを描き出すステップ学習

弊社では**「合格ラインの大枠から外れない」、「減点要素が少ない」、「確実に完成させる」ための基礎知識力と問題対応力を身につけること**にターゲティングしています。それは製図試験が減点法による採点が基本になっているため、不合格にならない答案図面を作成することこそが合格の鍵だからです。
そのため問題文の読解方法、エスキース手法を徹底的に解説し、**「解き方を理解する」ためにエスキースの描き出し指導**を行っています。エスキースは描き出すことでそのプロセスも添削することができます。しかし資格学校ではエスキースは添削せず、単に問題を解くこと、宿題をこなすことで合格をめざしているのが現状です。

②６課題＋基礎問題集（４課題）計１０課題、で深堀する学習計画

単に課題を多く解きたい方は、資格学校に通うことをお勧めします。製図試験は、ひとつの建物を計画するだけの試験です。あなたが建築設計で基本計画案を任された際にいろんな敷地で計画するでしょうか。もちろんひとつの敷地で計画しますよね。建築士に求められている能力は、いろんな敷地で計画できる力ではなく、その敷地での最適解を提案できる能力です。そのための最適解を答えられるように多くの問題を解くというのはひとつの選択肢でしかありません。もっとじっくり練って考えたり、逆にひとつの敷地で多くの可能性を考えていく学習方法が重要であると考えています。代わりに添削課題は全て本試験仕様をめざしており、平易な課題は用意しません。（基礎問題集は平易です）

③問題制作者が直接添削・解説

弊社では今のところ代表の山口本人が問題制作者であり、そして直接あなたの答案を解説・添削することで、各課題の狙いを確実にお伝えします。これは意外と重要で、直接指導を受けるのと、それを伝聞した講師から指導を受けるのは、似て非なる部分があります。なぜなら問題作成者の意図を理解していない講師も多く、また問題作成の意図が不明な問題も多いからです。私自身は、自身が作成した問題について、これはこういう点はよい問題だと思うとか、ここはヘマやってますみません、ということをオープンに伝えています。課題への疑問点が直接問題作成者に聴けるというのは大きなメリットだと感じていただいています。また 2019 年度より遠方者でも直接動画で話せるオンライン指導コースを設けています。

④類似過去問題分析＋基準階型基礎セミナー

学科試験を突破された方のほとんどは過去問題を解いてきたはずです。でも製図試験は別物と思うせいか、製図試験の過去問題を解いていない方が非常に多いのです。過去問題には多くの製図試験のしくみが埋め込まれています。そしてそれは生き物のように変化しているため、単に解くだけではダメで、その背後にあるメタ背景のようなものを理解することが必要不可欠です。弊社では 7 月 14 日から 18 日に過去問題を基礎とした基準階型基礎セミナーを、8 月は過去問題のうち特に重要な課題を選定し、解説を行います。

⑤リーズナブル価格の提供

製図試験.com では、初年度の方、試験経験者の方、資格学校に通っている方、地方の方等様々な受験生のニーズを実現しつつリーズナブルな費用のコースを提供しています。あなたの学習環境・経済環境に応じてコースをお選びください。

では合格に必要な力とスケジュールについて解説しましょう。

３.合格に必要な４ポイントとスケジュール

本年度試験課題発表までを前半戦、本年度課題発表から試験当日までを後半戦としています。
合格するための４つのポイントとして**①知識②技能③コツ④メンタル**を掲げています。

①知識

問題文を読解して計画するための知識です。建築(法規)・構造・設備計画力＋読解力が必要です。また建築計画力については、全体構成を決定するまでのエスキースとその構成に基づいたプラン作成能力は別のスキルであることから。さらにエスキース力とプランニング力に分けています。 基本部分は８月末までに、実践・応用は９月末までに習得しましょう。

②技能

プランニングを終えた計画案を時間内に図面化し、計画の要点は文章かするという身体性を伴う能力です。習うより慣れろ、考える前に行動。初めはトレースから学び、作業として時間内（作図 3 時間、要点 1 時間）を 8 月末目標に習得します。計画の要点の暗記部分については９月下旬にまとめていけば間に合います。

③コツ

製図試験独特のローカルルールが存在します。実務と全く同じ部分と全く異なる部分がありそのための試験分析・自己分析が不可欠です。まずそれに慣れることです。そして合格から逆算して何が必要なのか何をしてはいけないのかをローカルルールとして理解し体得することです。これはスタートしてから試験当日まで日々高めていくものとなります。

④メンタル

実は製図試験は様々なプレッシャーとのつきあい方と、つまらない試験勉強をいかに楽しくやるモチベーションキープが非常に重要な合格のためのメンタルスキルとなっています。これは主にメールマガジンと個人面談でサポートしており、試験当日まで日々鍛錬していくことになります。

上記の４つのポイントを鑑みつつ、スケジュール感を持って対策してまいりましょう。

Cf:資料作成イメージを！

資格学校スタイルで目の前の問題を解くということにばかりに集中している受験生は、課題の評価 ABCD ばかりを気にされる方が多いです。全部 A を取ったところで当日はどうなるかわからないのに・・・。問題はその時の評価ではなく、それによって何を得たのか、そしてそれを本試験でどう活かすのかの一点だけです。
弊社では**本試験会場に持っていくための条件整理と資料作成を行うイメージ**をもってくださいと指導しています。
受験生に問われているのは、どんな設計条件であっても、あなたの持っている整理された知識から解答する力です。そして日々の学習は、その知識を盤石にするための経験でしかありません。課題を解いたりテキストで学ぶことを通じて、あなたに問われているのは、条件整理された資料作成能力、そしてそれを判断して実行する能力なのです。
その能力は、一級建築士取得だけにとどまらず、今後の人生において最も重要なスキルのひとつとなるでしょう。
私のイメージは、私の前に道がない。でも私が通った跡は道になっている、ような資料作成能力です。是非、この力を 10 課題で身につけていただきたいです。

短期決戦スケジュール

ターゲットは明確になりましたか。この短期決戦ではそのためのスケジュール感を持つことが特に重要になります。
過去 2 年間、公共施設型が続いたので、**2020 年度本試験課題は基準階型の予想**をしております。そこで本年度は 7 月 14－18 日にプレ講座として基準階基礎セミナーを設けています。以下合格までのスケジュールについて解説します。

■製図試験.com 合格工程表(ver20/06/19)

項目＼日程		7月		8月		9月		10月	備考
			プレ	第1	第2	第3	第4	第5	
		基礎知識力			課題分析	問題対応	弱点	まとめ	
	試験	学科〇						製図〇	本試験は10月11日
	基準階基礎セミナー								オンライン動画セミナーです
	課題発表(7/21)		〇						
	課題説明会キックオフ		〇						東京・大阪・オンラインで開催
	オンライン合格基礎講座								4月からスタートいつでも受講可能
	オープン課題		〇						無料公開の学習用課題
	後半戦通信添削コース			1	2	3	4		コース2／3／4 あり。
	2020課題分析帖				〇				2020用エスキース手順・課題分析
	基礎問題集4課題				〇				2020問題集(問題/解答のみ)
	2020パーツ集					〇			2020用パーツ集
	シンクロニ模試						〇		上記コースに含まれます。9月26-27日予定
	直前講習会						〇		模試当日夜に直前まとめを開催
	セミナー（東京・大阪O/L)		〇	〇	〇	〇	〇	〇	計6回程度を予定

プレ以前：前半戦から学んでいる方は、拙著「**ステップで攻略するエスキース**」もしくは **Udemy 合格基礎講座**で公共施設型によるエスキース手順を固めてください。基準階型はあくまで、公共施設＋基準階という図と地の関係です。
プレセミナー：基準階型は、4 タイプあります。その基礎及び過去問題を 7 月 14 日-18 日動画セミナーで学んでいただきます。作図ができていない方は、作図トレースをお勧めします。

基礎：課題発表後（7 月 21 日～8 月上旬）

まだ課題分析帖は完成していないので、この間に、エスキース手順の理解、作図トレース、それから施設見学をやっておきたいところです。オープン課題で方向性を確認しつつ、第 1 課題に取り組んでいただきます。

実践：本年度分析（8 月中旬～9 月上旬）

課題分析が終わり、基本課題集、第 2 第 3 課題を行います。この時期までに、エスキース手順構築、3 時間作図を目標としましょう。

応用：弱点補強（9 月中旬～下旬）

上記課題を行っていく過程で多くのミスや不明点がでているはずです。しっかり復習し弱点補強をします。第 4 課題及びシンクロニ模試を行い、直前講習会で全体を一旦まとめます。

最終まとめ（10 月上旬～10/10）

全体を俯瞰しつつ、これまでの資料を分析したり、パーツ構築を続けます。仕上としての最後の 2 週間をいかに上手く使うかが求められます。前述したように、本試験会場に持って行くべき資料作成を通じて、情報の整理をおこなっていくこと、引き出しの整理ですね、これをやりつつクールダウンします。

本試験当日

クールダウンして 80%位の力で冷静に問題文と向き合うこと。持っている知識を全動員しつつ、俯瞰的に捉えること。小さなミスはあったとしても重大なミスをしないメンタルで立ち向かうこと、を目標とします。

次に製図試験.com コースと利用方法について解説します。

４.コース解説

弊社には受験生の状況にあわせて、教材／添削／オンライン指導／直接指導の４コースがあります。
まずコース生共通の特徴・特典は下記の通り５点あります。

・全ての課題関連資料は紙ベースで送付＋ダウンロード　・ZOOM オンラインを利用した課題解説レビューの受講
・メルマガ「一筆入魂」とは別にコース生専用メルマガ送付　・コース生専用メンバーズサイト BAND で自由に質問可能
・講習会、教材の全てがコース生価格で提供

① 教材コース１

教材＋ZOOM 解説が必要な受験生用コース。教材は下記の表にあるように、課題、解答例、解題、解説、過去本試験問題から厳選したもの、本年度課題分析帖等があります。昨年度の課題分析帖はサンプルで公開しています。
https://seizushiken.com/DL2020/2019cho01.pdf
主に資格学校に通っている方を中心に、問題と解答例だけが必要な受験生用のコースです。

② 添削コース２

教材＋ZOOM 解説**＋通信添削**
①の教材＋図面添削指導のあるコースです。
通常の通信添削講座はこれにあたります。
図面はタッチを観るため郵送をお願いしていますが、
PDF での送付でも受け付けています。

③オンライン指導コース３

教材＋ZOOM 解説＋通信添削**＋オンライン指導**
オンライン指導をコース生としてのコミュニティで開催。
ご自宅でエスキースや図面が描ける＋パソコン＋wifi が
使える環境であれば、ご自宅がそのまま教室になります。
遠方での受験生は特にお勧めできます。

④ 直接指導コース４

教材＋ZOOM 解説＋通信添削＋直接指導教室。東京(日曜日開催)、大阪(水・土曜日開催)のスクーリング教室です。スケジュールについては後述する 5.コース日程のページをご覧ください。

■コース教材一覧

		教材*2	ZOOM*3	添削	O/L*4	直接*5	費用（積上→割引価格）
1.メルマガ		情報配信用及びコース生用があります。					0 円
2.合格基礎講座		Udemy を利用した建築計画の基礎講座。(13,800 円)					下記コースに込*6
3コース	①教材コース	○	○				~~81,000~~→71,000 円
	②添削コース	○	○	○			~~128,000~~→112,400 円
	③OL 指導コース	○	○	○	○		~~144,800~~→134,000 円
	④直接指導コース	○	○	○		○	~~220,000~~→196,800 円

*2：課題(後半 4 課題+模試)、解説、解題、解答例、過去問題、基本問題集 4 課題
*3：ZOOM を使った他受講生図面・課題解説＋各種データダウンロード(30GB～)
*4：後半戦毎週
*5：後半戦隔週＋自習教室隔週（つまり毎週）
*6：UDEMY 合格基礎講座が不要な場合はさらに-13,800 円となります。

製図試験comコース日程予定 2020/6/10現在

前/後	課題NO	問題送付	問題トライ	送付〆切	添削図解説	解題解説	添削返却	備考
原則日程		火曜日	隔週末	翌月曜日	翌水曜日	翌金曜日	次回発送日	変則日程
オープン課題		7/22		—	7/29	7/31	随時	概要を知る基本
後半戦	1	7/28	8/1-8/10	8/11	8/11	8/12	随時	手順を知る
	2	8/11	8/15	8/17	8/19	8/21	8/25	手順を身につける
	3	8/25	8/29	8/31	9/2	9/4	9/8	弱点補強・時間内トライ
	4	9/8	9/12	9/14	9/16	9/18	9/23	弱点補強・時間内トライ
	模試	9/23	9/26/27	9/28	9/30	9/28	10/2	まとめ
	追加	未定						必要に応じて(未定)

予定は変更する場合があります。

Cf:どのコースがオススメなのか。

④直接指導コース

スクーリングでは 1 日かけて丸々1 課題解くようなことはしません。課題は事前に解いてきて、午前中はその課題レビューから始めます。次にその内容を巡っての講義。そしてそれを受けてワーク（例えば動線図を何度も描く等）を行います。また別途自主ゼミ形式でですが、場所を確保して 6 時間勝負で課題に挑戦していただけます。

③オンライン指導コース

課題レビューは ZOOM オンラインで行います。また直接指導で行っている講義の部分とワークの解説を別途 ZOOM で行います（水曜日夜を予定）。また必要に応じてオンライン個別指導します。講義は後日ビデオ学習で何度でもご覧になれます。

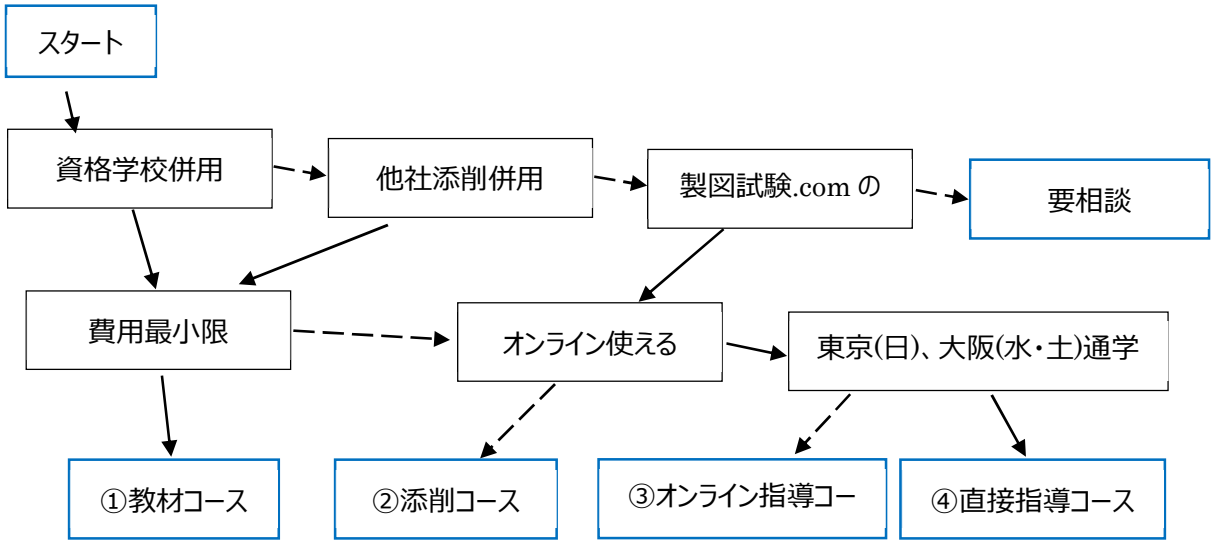
②通信添削コース

通信添削のみであっても ZOOM オンラインでの課題レビューの閲覧はできるのでそれを参考にしつつ、図面添削で学習します。オンラインが苦手とか、学習環境が整わない受講生もおられるため、このコースを作りました。BAND という LINE ライクなサポートサイトを使えるので、BAND を介して質問できます。

①教材コース

全ての資料と教材を手に入れることができます。また ZOOM オンラインでの課題レビューも受講できますし、BAND サポートで質問もできます。添削がない分最もリーズナブルです。資格学校併用者にはお勧めできます。

■コース決定フロー　ハイ ⟶　いいえ - - - - - ▸



５.直接指導・オンライン指導コース日程

直接指導コースの日程は下記の通りです。東京が日曜日、大阪が水曜日／土曜日
オンライン指導コースは水曜日夜の予定で計画中です。

令和2（2020）年度　直接塾コース4講習会日程予定表　　ver.200610-1

講習	大阪(水）/OL	大阪（土）	東京(日）	備考
■後半戦(7月12日学科試験）課題発表7月21日予定				
基準階オンラインセミナー		7月13日～18日		毎晩zoomセミナー
オープン課題		7月22日公開		無料公開
ライブレクチャー	7月22日23日		7月24日25日	本試験課題解説
第1課題トライ	7月29日	8月1日	8月2日	自主勉強会
第1課題オンライン講習	8月8日	8月8日	8月9日	オンライン
夏期講習会（第2課題）		8月9日10日	8月13日14日	第1/2課題+α
予備日	8月19日	8月22日	8月23日	
第3課題トライ	8月26日	8月29日	8月30日	自主勉強会
第3課題講習	9月2日	9月5日	9月6日	第3課題+α
第4課題トライ	9月9日	9月12日	9月13日	自主勉強会
第4課題講習	9月16日	9月19日	9月20日	第4課題+α
追加課題演習	随時	随時	9月21日	弱点補強
後半戦シンクロニ模試		9月26日	9月27日	模試形式
直前最終講義		10月3日	10月4日	総まとめ講義
本試験日	10月11日			

自主勉強会は講師なしで自主ゼミのように6時間半トライを行います

６.学習アイテム一覧

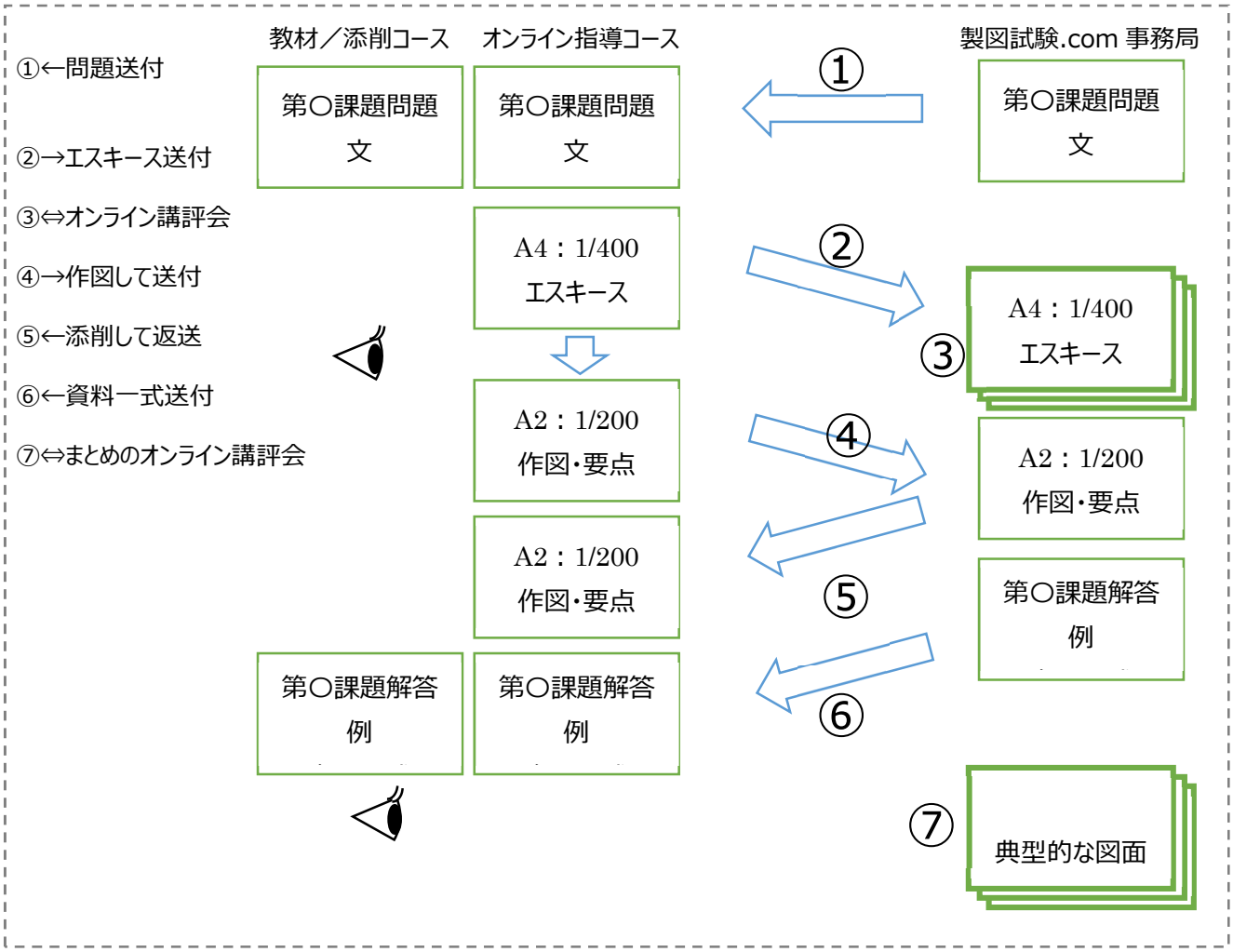
A:4 つのコース＋Udemy 基礎講座

A110S	通信添削　①教材コース	対象：教材のみが必要な方	オススメ度◎
内容	資格学校の課題だけでは、不安になる方。違う角度の問題を必要とする方のために、製図試験.com の通信添削**課題教材一式のみを購入**できるのがこのコースです。 例年資格学校生を中心に、教材だけを希望する方が多いため、このコースを作りました。 図面添削がないだけで、製図試験.com の通信添削コースの教材を手に入れることができます。		
教材	教材は下記の 10 大アイテムとなります。 ①Udemy オンライン講座（A001Y） ②後半戦 10 課題（添削 4 課題＋模試＋⑤基礎問題集 4 課題+オープン課題を含む） ⑥2020 課題分析帖冊子（B200Y）、最終まとめ資料 ⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権 ⑧オンラインレビューZOOM の参加権 ⑨添削メンバー用メール配信 ⑩メンバーズサイト BAND 参加権		
費用	71,000 円（うち A001Y は 13,800 円） A001Y は省くことも可能です	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算で可能です。

A210S	通信添削　②添削コース	対象：教材＋添削が必要な方	オススメ度〇
内容	A110S に**図面の添削をセット**したコースです。ただしオンラインでの添削指導、レビューは行いません。 オンライン環境が整うのであれば、③オンライン指導コースをオススメします。		
教材	教材は下記の 10 大アイテムとなります。 ①Udemy オンライン講座（A001Y） ②後半戦 10 課題（添削 4 課題＋模試＋⑤基礎問題集 4 課題+オープン課題を含む） ⑥2020 課題分析帖冊子（B200Y）、最終まとめ資料 ⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権 ⑧オンラインレビューZOOM の参加権 ⑨添削メンバー用メール配信 ⑩メンバーズサイト BAND 参加権		
費用	112,400 円（うち A001Y は 13,800 円） A001Y は省くことも可能です	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算で可能です。

A310S	通信添削　③オンライン指導コース	対象：学校に通えない方で遠方の方	オススメ度◎
内容	オンラインによるコース生として学びます。		
教材	A110S と同様		
内容	製図試験.com のメイン教材です。 これまでの通信添削コースでは、直接指導することがなかなか実現しませんでしたが、このオンライン指導コースでは、オンラインアプリ ZOOM を使うことによって、直接添削指導をすることが可能となりました。 オンライン指導コースの方の特典は、 ①オンライン図面指導（課題レビューの際、取り上げて解説もしくは個別解説） ②オンライン個別指導（オンラインで実際に図面と改善方法について個別指導します） ③オンライン質問応答：ZOOM を使って、日々の疑問点を質問できます。とても表現しにくいのですが、オンラインで製図試験.com の事務所に訪問して質問するようなイメージ。 ④別途、直接指導コースで行っている講義をオンライン指導コース生のみに開催。 の４点です。 特に資格学校まで遠方の方で、自宅で学校へ行く以上の指導を受けたい場合は、このコースをオススメします。		
教材	教材は A100S の 10 大アイテム**＋オンライン指導**です。 日程は別途６.直接指導・オンライン指導コース日程をご覧ください。		
費用	134,000 円（うち A001Y は 13,800 円） A001Y は省くことも可能です	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算

オンライン指導イメージ

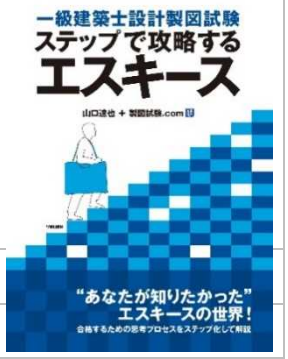


A400S	通信添削　④直接指導コース	対象：スクーリング可能な方	オススメ度◎
内容	大阪は水もしくは土曜日に大阪市内西九条で、東京は日曜日に飯田橋でおこなっています。 人数限定のスクーリングで席数には限りがあります。 通常の資格学校のようなスクーリングですが、前述したように終日問題を解くということはしません。 1 日の講習イメージ 10 時までに集合、事前課題の答案を人数分コピー 10:00　図面レビュー　　13:00　講義 11:30　まとめ　　15:00　ワーク 12:00　ランチ　　17:30　終了予定		
教材	A001Y**＋上記直接指導（5 回）及び自主勉強会（4 回）**を予定しています。 日程は別途 6 .直接指導・オンライン指導コース日程をご覧ください。		
費用	196,800 円（うち A001Y は 13,800 円）	備考	全ての教材が含まれています。

A001Y	Udemy 基礎講座	対象：製図試験の基礎が学びたい方	オススメ度◎
内容	Udemy（ベネッセが運営補助）というオンライン講座を利用して、3 つのオンライン講座が学べます。各種資料は、ダウンロード可能です。Udemy の講座は、合格するまで何度でもご覧になれます。下記 URL では講座のはじめの部分を無料公開しています。 ◆エスキース講座　https://www.udemy.com/seizushiken101/ ・自己分析課題、エスキーススステップ（ESTEP）解説、パーツ集の考え方/作り方　全 27 レクチャー ◆作図講座　https://www.udemy.com/seizushiken201/ ・作図手順（DSTEP）とその解説、作図練習の行い方、全 9 レクチャー　＋　ボーナス 3 レクチャー ◆要点講座　https://www.udemy.com/seizushiken301/ ・建築計画系の要点、構造/設備系の要点の記述法、暗記テキスト付　全 16 レクチャー		
教材	Udemy 内に設定したオンライン講座。1 レクチャーあたり 3～20 分。スマホ、タブレット、PC で利用可能。 自己分析課題問題/解題・解答例・パーツ集・計画の要点帖（以上ダウンロード版）		
費用	34,800 円　コース生 13,800 円 **(既受講者は合格するまで無償)**	備考	スマホ・タブレットでの閲覧は Udemy アプリが便利です。

注）Udemy 基礎講座は 1 度申し込んだら合格するまで無償です。コースを申し込まれる方で以前に Udemy 基礎講座を申し込んでいる方は、**コース生 Udemy 分 13,800 円が減額**となりますのでご注意ください。

B:エスキース系テキスト

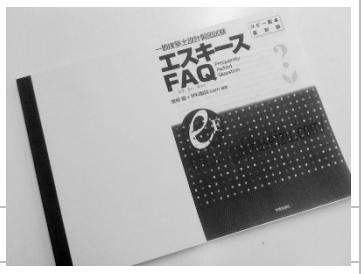
B100Y	ステップで攻略するエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	A001Y の Udemy（ベネッセが運営補助）オンライン講座のベーステキストです。 テキスト内容についてのオンラインサポートと本年度課題(h30 対応)のオープン課題解説を行っています。 ISBN978-4-7615-3234-5C0052		
教材	学芸出版社刊　P128　A4 変版		
費用	3,000 円＋税	備考	

B101Y	エスキースアプローチ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	エスキースの方法論を説いた製図試験.com の前身学科製図.com のテキスト 平成 12 年～平成 18 年までの課題解説付。 過去問題研究の上では重要なテキストとなります。絶版につき、弊社でのみ販売。		
教材	学芸出版社刊　P128　A4 変版　978-4761502515		
費用	2,500 円（コース生 2,000 円）	備考	残冊のみ

B102Y	わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	全室リストの原形となる図解法を解説したテキストでステップエスキースの原形本。 h19 及び h21-h23 別刷過去問題解説付。 絶版につき、弊社でのみ販売。		
教材	学芸出版社刊　P128　A4 変版　978-4761524371		
費用	2,800 円（コース生 2,200 円）	備考	残冊のみ

B103S	エスキースアプローチ＋わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	B101Y+B102Y セット価格とします。		
教材	学芸出版社刊　P128　A4 変版　2 冊組		
費用	4,000 円	備考	残冊のみ

B104Y	エスキース FAQ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度○
内容	エスキースについて、よくある質問を問答形式でまとめました。 絶版だったのですが、コピー製本で復活させました。		
教材	A4 コピー製本 P128		
費用	1,800 円（コース生 1,200 円）	備考	コピーしたテキストです。

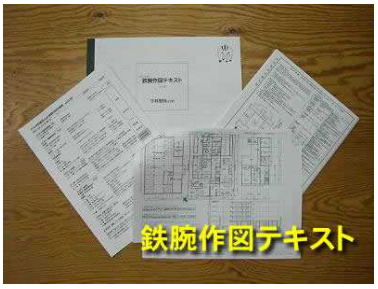


B200Y	2020 課題分析帖+パーツ集	対象：2020 年度課題を学びたい方	オススメ度◎
内容	本年度試験課題を丸ごと解説。＋本年度用エスキース手法をまとめています。 **本年度受験するために必須のテキスト**だと断言します。 コース１／２／３／４生には全員配布します。 分析帖は 8 月中旬発送、パーツ集は 9 月上旬ダウンロード版となります。		
教材	コピー製本 40 ページ程度＋パーツ集 25 ページ程度		
費用	6,000 円（分析帖 4,000 円＋パーツ集 2,000 円）	備考	コース生には含まれています。

C:製図作図系

C100Y	用紙セット（10 枚+10 枚）	対象：用紙が必要な方	オススメ度○
内容	製図試験用 A2 の解答用紙（厚紙） ＋エスキース用紙（薄紙）10 枚ずつセット。 オンライン上では、さらに厚紙だけ、薄紙だけ購入することも可能です。		
教材	A2 用紙		
費用	1,800 円（コース生 1,500 円）	備考	段ボール 4 角柱に丸めて送付します。

C101Y	鉄腕作図テキスト＋DVD	対象：3 時間作図ができていない方	オススメ度○
内容	作図方法の基本からポイントまでを解説したテキスト by 学科製図.com もう 10 年以上の隠れたベストセラーとなっています。 平成 18 年度課題をベースに解説しています。		
教材	鉄腕作図テキスト A4：50 ページ＋3 時間作図 DVD		
費用	3,500 円（コース生 3,000 円）	備考	



その他、シャーペン、テンプレート、フローティングディスク等を製図用具も販売しています。

D:経験値系テキスト

D100Y	エマージェンシーマニュアル（復刻版）	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度〇
内容	製図試験の経験値が少ない方、初受験の方に贈る試験会場で何が起こっているのかというテキストです。平成 13 年、14 年版なのですが、平成 30 年でも十分読み応えがあり、コピー製本で復刻しました。		
教材	A4 コピー製本 P128 （元々は学芸出版社刊行）		
費用	1,800 円（コース生 1,500 円）	備考	

D290S	本試験再現図面集	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度〇
内容	本試験分析をする上で欠かせない 1 冊。30 枚の本試験再現図面を解説。		
教材	A3 コピー製本 P50 （元々は学芸出版社刊行）		
費用	3,000 円（コース生 2,500 円）	備考	

E:セミナー・講習会・模試

弊社では直接指導する講習会を中心に、オープンな講習会及び模試を行っています。講習会は講義とワークショップで構成しています。その他、日程が合えば、地方他でも講習会を予定しています。メルマガをご参照ください。

Cf:サブテキストの利用について

製図試験.com では様々なサブテキストをお勧めしています。それは製図試験との距離感を重視しているからです。熱心すぎる受験生ほど製図試験との距離感を失ってしまいがちです。約 4 割が合格するそれほど難しくない試験なのですが、問題を受験生自身で難しくしてしまう傾向があります。そこで試験を俯瞰できる力が不可欠になりますが、それは製図試験テキストでは不可能です。製図試験を相対化するためには、非製図試験テキストが不可欠であり、お勧めしているのは下記の 3 冊です。

「地頭力を鍛える」細谷 功 東洋経済新報社

メタ思考やフェルミ推定を鍛えるためには「地頭力を鍛える」が最も参考になります。
一級建築士取得後も必ず役に立つテキストです。

「仕事のミスが絶対なくなる頭の使い方」宇都出 雅巳 クロスメディア・パブリッシング

高速大量回転法の提唱者で山口の速読述の師匠でもある宇都出先生の快著。
これ 1 冊で合格する人も出てくるミスをなくすためのノウハウテキストです。

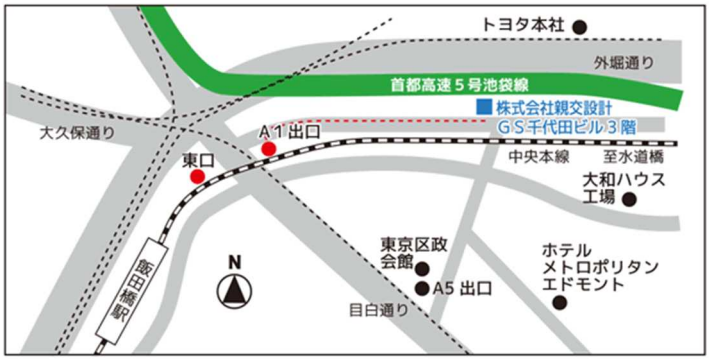
一流をめざすメンタル術」 鈴木颯人 三笠書房

2019 年度より封印していたメンタルトレーニングを復活させます。
理由はできる受講生に限って、意外にメンタルが弱いことを再認識したからです。
鈴木先生の「ポジティブアスキング」は是非お勧めしたいメンタル技術です。

製図試験 com インフォメーション

名　称：製図試験 com
（http://seizushiken.com）
運　営：有限会社 I.L.D.教育事業部
連絡先：〒554-0012
大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階
電話 06-7181-3701　FAX 020-4665-1911
メール：guchi@seizushiken.com
銀　　行：ジャパンネット銀行すずめ支店
普）3175127 ユ）アイエルディ
郵便振替：00970-2-222802 ユ）アイエルディ
関連サイト：
FB http://facebook.com/seizushiken/
ツイッター http://twitter.com/seizushiken/

東京講習会場：
親交セミナールーム
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋 3-11-14　GS 千代田ビル 3 階



JR 中央本線飯田橋駅東口より徒歩 5 分
東京メトロ飯田橋駅 A5 出口もしくは A1 出口より徒歩 4 分

主宰：山口　達也（ハンドルネーム：曽根　徹）
1962 年 11 月 26 日生
大阪工業大学建築学科都市計画研究室
神戸大学環境計画学専攻、工学修士（早川和男研究室）
阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。
都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、
有限会社 I.L.D.を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、
2000 年に「学科製図.com」を設立。
18 年間で 2,600 名以上の一級建築士を輩出。
2015 年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。
一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。
業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。
2018 年より学科試験.com も同時に主宰。

このテキストは 2020/06/19 現在のものです。コンテンツの無断利用は固く禁じます。Copyright © 製図試験.com All rights reserved.